

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)

【公開番号】特開 2002-167534 (P2002-167534A)
 【公開日】平成 14 年 6 月 11 日 (2002.6.11)
 【出願番号】特願 2000-366057 (P2000-366057)
 【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】
 【提出日】平成 19 年 10 月 10 日 (2007.10.10)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 クリーニング操作により、記録液を循環させることで付着物を記録液に再分散させることが可能な記録装置に用いる記録液であり、少なくとも、水、水溶性有機溶剤、及び、水溶性高分子樹脂により顔料に分散性を付与して得られる着色剤を含有するインクジェット用記録液において、該記録液を 40 の条件下に放置し、その 30 重量 % を蒸発させた濃縮された状態の記録液中の着色剤の平均粒子径の増加率が 25 % 以下に抑制されるように構成されていることを特徴とするインクジェット用記録液。

【請求項 2】 前記水溶性高分子樹脂の酸価が 100 ~ 300 である請求項 1 に記載のインクジェット用記録液。

【請求項 3】 前記着色剤の平均粒子径が 200 nm 以下である請求項 1 から請求項 2 のいずれか 1 項に記載のインクジェット用記録液。

【請求項 4】 少なくとも、1 分子中に 3 つ以上の水酸基を有する水溶性有機溶剤を 5 重量 % 以上含む請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載のインクジェット用記録液。

【請求項 5】 請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載の記録液を記録信号に応じてオリフィスから吐出させて被記録媒体に記録を行う工程を有することを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項 6】 記録液に熱エネルギーを作用させて記録液を吐出する方式の請求項 5 に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 7】 記録液を吐出させるための記録ヘッド、記録液を収容するためのインクタンク、及び、インクタンクから記録ヘッドに記録液を供給するための供給部からなるインクジェット記録装置において、上記記録液が請求項 1 から請求項 4 のいずれか 1 項に記載の記録液であることを特徴とするインクジェット記録装置。

【請求項 8】 記録ヘッドが、フルマルチ型記録ヘッドである請求項 7 に記載のインクジェット記録装置。

【請求項 9】 記録ヘッドとインクタンクとの間に負圧を調整するためのインク収納部が設けられている請求項 7 から請求項 8 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録装

置。